

## 坪井 茂美さん

Shigemi Tsuboi

府中市文化スポーツ部図書館長

1964年、東京都府中市生まれ。都立調布北高から実践女子短期大学国文科へ。85年度、東京都府中市役所入庁。7年間の市役所勤務を除き、図書館勤務。2014年度から現職



本の楽しさ、ワクワク感を子どもたちにもたちに伝えたい

子どもの頃、自宅には絵本や岩波少年少女文庫などがありました。小学校5年生の時、SF小説家の光瀬龍さんの本を借りるために地元・府中市の図書館に予約。そこで対応してくれた方が大人と同様に接してくれ、その姿に憧れました。

図書館勤務に司書という資格があることを知ったのは、高校生になってから。自宅通学ができる実践女子短期大学（現・実践女子大学短期大学部）に入学。短大では、資格取得のため土曜日午後も授業がありました。でも、地方出身者や併設校からの人など、たくさん

卒業後は府中市役所へ。図書館司書の募集はありませんでしたが、面接で「図書館で仕事をしたい」とアピールすると、運よく1年目から図書館に配属になったのです。そこで児童向けのお話し会や人形劇の上演、子ども向けの図書館便りの編集をしました。

現在、私が勤めている府中市立中央図書館は、民間活力を利用するPFI方式で運営されています。自分が本の仕事に携わるようになったのは、子どもの頃の体験があったからこそ。本を読むと楽しい、図書館に来るとワクワクする——。そうした経験を子どもたちに伝えられたら、と思っています。



蔵書は郷土資料なども充実。ICタグの採用など情報化にも対応している



男女共同参画推進担当理事  
人間社会学部長  
広井多鶴子教授

1990年代半ばまで、女性の短大への進学率は4年制大学よりも高く、今、そんな短大卒の女性たちがリーダーとして活躍しています。図書館長をされている坪井さんもその一人です。かつての図書館は男性の職場でしたが、今や多くの女性が働いています。そうした姿を見て、図書館司書を目指して勉強している女子学生がたくさんいます。図書館が一層、女性の活躍する職場になることを願っています。